

Kushiro City General Hospital
市立釧路総合病院 看護部





地域完結型医療を目指して



ホスピタルホール



救急外来



外来



入院病棟

病院理念

信頼と満足の創造

看護部理念

個人の尊重と心のこもった看護

1. 患者・家族の人権を守り、最善の看護に努めます。
2. 看護の質向上に努め、安全で信頼される看護を目指します。

看護部運営方針

1. 患者・家族を尊重し、満足される心のこもった看護ができる。
2. 看護の専門性を発揮し、安全・安心・安楽な看護が提供できる。
3. 心豊かな人間性を養い、常に学習することを怠らず、自己研鑽に努める。
4. 変化する時代の要請に応え、医療チームの一員として病院運営に関わる。
5. 「人」を大切にし、「人」が育つ組織づくりに努める。

看護部長からのメッセージ



看護部長 鈴木 直美

市立釧路総合病院は、釧路・根室三次医療圏の中核病院として、がん・循環器疾患等の高度専門医療や精神・感染症・周産期等の特殊医療など地域にとって必要不可欠な高度急性期医療を提供しています。

少子高齢化、人口減少、新型コロナウイルスの脅威など地域社会の情勢はどんどん変化しています。そのため、看護職一人一人が確かな知識・技術を獲得し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる人材を育成しています。看護部は「個人の尊重と心のこもった看護」を理念としています。患者さんや家族の気持ちに寄り添い、心のこもった看護が提供できるよう、「人」を大切に「人」が育つ、やりがいと看護の専門性が発揮できる職場づくりに取り組んでいます。医療を受ける人達のその人らしさを大切に、住み慣れた地域で安心して暮らせるように、関係施設と協力して地域における連携体制の構築に貢献していきたいと思っています。

当院は、2022年で150年を迎えた歴史ある病院です。



私たちと一緒に地域医療を支えませんか



平成21年より
基地病院としてドクターヘリの運航を開始

世界3大夕日を望む春湖台に位置し、
道東の基幹病院として、看護部の理念の実践を目指しています。

概要

道東の中核を担う病院で一緒に働いてみませんか？

□ 病床数：599床

□ 診療科目：32科

内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、小児科、外科
心血管外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科
精神科、神経科、眼科、脳神経外科、麻酔科、放射線治療科、歯科
歯科口腔外科、リウマチ科、リハビリテーション科、アレルギー科
病理診断科、形成外科、救急科、頭頸部外科、呼吸器外科
消化器外科、乳腺外科、緩和ケア内科、放射線診断科

□ 地域医療連携

□ チーム医療

- 災害拠点病院
- DMAT指定医療機関
- 臨床研修医指定病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 地域周産期母子医療センター

職員数 1100名

看護師数 619名

※令和5年4月1日現在

1日の外来患者数

約1200名

1日の入院患者数

約450名

勤務体制 勤務時間

2交代勤務・変則3交代勤務

変則3交代
勤務時間

2交代
勤務時間

日勤
8:30 ▶ 17:00

準夜
16:00 ▶ 22:00

夜勤
16:30 ▶ 9:00

深夜
21:30 ▶ 9:10

自分のライフワークに
合わせて勤務が選べます

昇給/年1回

- 休日：週休2日制、土・日・祝日・年末年始(12/29～1/3)
※交代勤務による振り替えあり
- 年次休暇 年20日(繰越最大20日)
夏季休暇4日 病気休暇 年90日
- その他：結婚、忌引、介護、特殊休暇など

メンタルヘルス

職員のメンタルヘルスも管理しています。
定期的にストレスチェックし、必要時は面談や
カウンセリングの案内など職員の健康を心身
からサポートしています。

子育て支援

当院では子育て中の看護師が多数在籍しています。

育児休暇は子が3歳に達するまで仕事を休むことができます。

院内保育所が小学校就学前まで利用でき、育児短時間勤務では子が小学校に就学に達するまで、勤務時間を短縮して働くことができます。子の看護休暇では中学校就学前の子の看病や通院付き添いのための休暇もあります。

市立釧路総合病院 看護師クリニカルラダー構造



◆教育カリキュラム◆

◆看護部教育理念◆

心豊かな人間性を養い、患者・家族の人権を守り、安全で質の高い医療・看護を提供できる看護職を育成します。

◆教育目標◆

1. 科学的根拠に基づいた看護ケアが実践できる看護職を育成します。
2. 多職種と協働し、患者中心のチーム医療が実践できる看護職を育成します。
3. 生涯学習する姿勢を継続できる看護職を育成します。
4. 問題意識を持ち、看護研究に取り組むことができる看護職を育成します。
5. 教育的環境を整え、学生や職場復帰を支援します。

専門看護師
認定看護師

キャリアアップ

マネジメントラダー

看護管理者

より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択し、QOLを高めるための看護を実践する

看護師レベルV

幅広い視点で予測的判断をもち看護を実践する

看護師レベルIV

ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する

看護師レベルIII

標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する

看護師レベルII

基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する

看護師レベルI

クリニカルラダー

自己組織的実践能力
自己組織的実践能力
自己組織的実践能力

4月
April

集合研修

ローテーション研修

5月
May

ローテーション研修は、病棟に2-3人ずつ配属され、新人実技指導者が中心となり、電子カルテの使用方法や基本技術を経験します。5日間毎、2つの病棟を経験し、面談で希望病棟を確認してから配属病棟が決定します。その後は配属病棟研修となります。今までの基本的技術を基に、病棟の特殊性に合わせた看護を学んでいきます。

6月
June

メンタルヘルス研修

1年目の悩み、メンタルヘルスケア、ナースができるストレス対処法について講義を受けました。ストレスチェックを行い自分自身の傾向を確認し、実際に体を使ったリフレーミングやアサーションについて学ぶことができました。就職して2か月が経過し業務に慣れ始めてきた時期でもあります。自分自身の傾向を知ることができ、対処法を学んだことで今後のセルフケアに活かしていきたいと思います。

7月
July

医療安全研修

栄養科、薬剤部、放射線科、検査科、看護部の医療安全防止策について講義がありました。今回の研修を通し、安全対策への知識と技術を持ち、常日頃から危険を予測したマニュアル遵守の行動が必要であると学ぶことができました。また、多職種との連携を通して医療事故防止に務める必要がある事など、多くの気づきが得られる研修となりました。

新人看護職員研修における指導体制



急変時の対応、BLSについて講義を受けました。講義後の演習では実際の急変をイメージすることができ理解が深まりました。今回の研修を通し、急変時の初期対応の重要性や定期的な訓練が必要であること、急変を察知するアセスメント力を身につける必要性を実感し、今後の課題を見出す機会となりました。



事例をもとにプロセスレコードの記述方法を学び、各自で症例をあげ実際に記載しました。プロセスレコードを記載することで自分の特徴や傾向に気づくことができたと考えます。就職して半年が経過し、様々な患者と関わり、様々な場面に遭遇する中で今回の学びをもとにより良い看護につながることを期待します。

多重課題研修を行いました。研修では、2グループに分かれて、4人部屋の患者さんへの検温のシミュレーションを行いました。シミュレーション後グループワークを行い、他の人の発表や意見を聴くことで、自己を振り返りや自分とは違う観察点・看護ケアなど多くの学びを得ることができました。

急変時対応BLS研修

プロセスレコード

多重課題研修

8月
August

フィジカルアセスメント研修



フィジカルアセスメントの基本についての講義を受けた後、シミュレーターを使用して実技演習を行いました。その後、看護過程についての講義を受け、事例を基にアセスメントと看護過程についてグループワークを行い、各グループ毎に意見発表を行いました。様々な側面から情報を得てアセスメントを実践していく重要性やどのような看護ケアが必要かを考える機会となりました。

9月
September

10月
October

11月
November

12月
December

1月
January

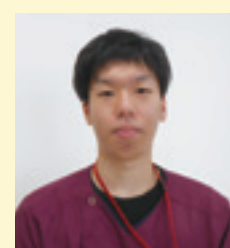
2月
February

3月
March

院内留学

11月から1月にかけて所属病棟ではなかなか体験できない新人実技を他の病棟で見学・体験することで、目標が達成できるように支援しています。

病棟に配属されてから約10か月経ちました。配属されたばかりの頃は、初めて経験することばかりでわからないことが多く、プリセプターや実技指導者さん、病棟スタッフの方々に支えられ少しずつ慣れたきたと感じています。自立して行える技術も増えてきて、責任感が増していると同時に、患者と向き合い仕事することに楽しさを感じている日々です。知識や経験などまだまだ不足していることがたくさんあるため、先輩たちから多くの看護を学び、1人ひとりにあった看護が提供できるよう日々努力していきたいです。



新人看護師のコメント

1A病棟に配属されてから約半年が経ちました。配属当初は分からないことが多く、緊張や不安もたくさんありましたが、優しい先輩方が親身にご指導してくださったおかげで、日々の業務にやりがいと楽しさを感じていくことができました。まだまだわからないことも多くあり不安や焦りを感じる毎日ですが、少しでも患者様がより良い入院生活を送れるよう努力していこうと思います。業務では、療養上の世話だけではなく、退院後の生活についても考えてケアをすることで、より一層患者様が心身ともに健康でいられるような看護が提供できるのだと学ぶことができました。看護師としては、働き始めてからは忙しく、日々勉強の毎日です。辛いことはたくさんありますが、優しい先輩方に支えてもらい同期と励ましあい、自分の成長を感じることができ、毎日が充実しています。この病院に就職して良かったです。



終了式

1年の振り返り

がん看護専門看護師	精神看護専門看護師	特定行為研修終了看護師
救急看護	皮膚・排泄ケア	緩和ケア
感染看護	手術看護	がん化学療法看護
認知症看護	がん放射線療法看護	乳がん看護
		慢性心不全看護

がん看護専門看護師

内海 明美



がんの診断を受けることで、患者さんとそのご家族の心の動揺は計り知れないものがあります。時に、つらい現実を目をそむけたいということもあります。外来通院中・入院中にかかわらず、がんの病状や治療に伴う心身のつらさ、そして療養生活全般に対する患者さんご家族がどのように生活していきたいかという思いを尊重し、多職種と連携して支援をします。緩和ケア認定看護師の役割も持っているため、苦痛症状の緩和にも積極的に対応しながら、患者さんの療養生活の可能性を拓ける取り組みを行います。

精神看護専門看護師

大島 友美



2017年に精神看護専門看護師の資格を取得いたしました。リエゾン (liaison) とは、橋渡しをする・連携する・つなげる、という意味があります。身体の病気から心の不調を来すこともあれば、心の不調から身体の病気を患うこともあります。このような患者さんやそのご家族に対して、心と身体をつなぎ、健康を取り戻し「その人らしく」生活できるようお手伝いを行なっています。また、患者さんやご家族の心に寄り添うため、医療スタッフが連携し合い活躍できるよう、人と人をつなぐ役割を発揮していきたいと考えています。

救急看護認定看護師

泉谷 勇



2018年7月より救急看護認定看護師の認定を受け、現在救命センターで勤務しています。主に当院に救急搬送されてくるあらゆる患者とその家族を対象に、医師をはじめとする多職種のメディカルスタッフと連携、協働しチーム医療を行っています。また、フライトナースとしてドクターヘリに搭乗し、院外における活動も行っています。救急外来に受診、搬送される患者さんの多くは、突然の発症や病状の悪化、事故や怪我などによる苦痛はもちろんのこと、不安も多く抱えていらっしゃると思います。患者本人だけでなく、付き添われる家族に対しても、訴えに耳を傾け一番身近な存在となる看護師を目指しています。

緩和ケア認定看護師

山田 美穂



2017年度より緩和ケア認定看護師として活動しており、外来と病棟で患者さん・ご家族のケアを行っております。また、緩和ケアチームのメンバーとして、症状緩和の具体的方法について多職種と検討し、ケアを行っています。患者さんのからだのつらさ、気持ちのつらさが緩和され、ご希望の場所で過ごせるよう専門的知識と技術を活かし、患者さん・ご家族の持つ力を支えていきたいと思っています。また、面会制限が続いておりますが、その中でも、患者さん・ご家族がより有意義な時間を過ごせるよう工夫していきたいと思っています。

看護部親睦事業

新人歓迎会やコーヒースクール・アロマ教室・港まつりなど企画されています。

研修費用の助成金があります。



COVID-19の影響により一部中止となっていますが、COVID-19が落ち着いたら再開予定です。

病棟紹介

釧根地域で唯一の救命救急センターの指定を受け、ドクターヘリの基地病院でもあることから内科系・外科系問わず、呼吸・循環・代謝及び重篤な急性機能不全の救急・重症患者を受け入れています。その他にも、病棟で重篤な症状を呈した患者や、手術後に高度な全身管理が必要な患者の受け入れも行っています。強力かつ集中的に治療、看護を行う部門がICUです。ICU看護師は医師とともに救命救急処置に参加することも少なくなく、心肺蘇生術の心得や呼吸不全・循環不全の治療に関する知識・技術を有し、各種医療機器の取り扱いにも熟知する必要があります。重度の急性機能障害の状態にある患者の障害を最小限にとどめながら、早期に回復させるために、看護師や医師をはじめとする多職種によるチーム医療が展開されています。患者とその家族に寄り添い、日々濃密かつベストな看護を提供するために努力しながら、安心・安全に療養できる環境作りを行っています。



緩和ケア病棟



緩和ケア病棟は、抗がん剤治療の継続が難しくなったがん患者さんが直面するからだとこの苦痛に対して治療やケアを行う専門の病棟です。患者さんやご家族が穏やかに過ごせるよう医師、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士など、さまざまな専門職が協力して患者さんご家族を支えます。がんそのものに対する治療である手術、抗がん剤治療などは行っていません。しかし、当院が総合病院である強みを活かして、患者さんの苦痛を和らげるための放射線治療や神経ブロックなど、それぞれの専門医と相談しながら提供します。

当院の緩和ケア病棟では、痛みやつらい症状がコントロールされてきた時期はご家庭で家族と共に貴重な時間を過ごしていただくことを目指します。一度、退院した患者さんの再入院については24時間体制で受け入れるシステムを整えています。

産科では妊娠中から出産・産後まで継続したケアを提供しており、助産実践能力の認められた「アドバンス助産師」が在籍しています。また、道東初の無痛分娩や、産後の母子のサポートを行う産後ケア事業、安心して育児ができるように個室での個室指導などに力を入れています。

婦人科では、治療や手術にできるだけ不安なく臨めるよう、また退院後に安心して生活できるよう、患者様に寄り添う看護を大切にしています。

小児科では、乳幼児から学童、小児期発症の慢性疾患を持った成人まで、幅広い年齢層の患者さんの看護をしています。

小児科は気管支炎・肺炎などの急性期疾患や慢性疾患、手術を受ける患者さんが入院しています。

入院している子供たちが少しでも不安なく、またご家族が安心して入院生活を送れるよう療養環境を工夫して、治療・看護を行っています。



3A病棟



道東唯一の呼吸器内科と結核10床を有している病棟です。呼吸器内科では気管支内視鏡検査を行い、肺がんに対して化学療法や放射線療法を行う患者さんが主に入院しています。

また、肺炎、気胸、喘息などの治療や、在宅酸素療法の導入も行っています。

結核病棟では正しく内服を継続できるよう、患者さんに合わせたサポートを行っています。慢性期、終末期の看護を実践し、化学療法、放射線療法、在宅酸素療法など幅広い治療法を学ぶことが出来ます。

自宅で過ごしたいという患者さんや家族の想いに寄り添い、退院後も不安なく過ごせるよう医師をはじめ、社会福祉士や理学・作業療法士など多職種と連携し支援を行っています。

病院への交通アクセス



釧路駅からの交通

- 釧路バス…所要時間 約10分(市立病院下車)
 - 2番 若草団地線
 - 12番 文苑公住線(緑ヶ岡経由)
 - 17番 白樺線(湖陵高校経由)
 - 30番 昆布森線
 - 55番 南北線(第2若草経由)
- タクシーご利用の場合…所要時間 約8分

他方面からのバス利用

- 釧路バス
 - 26番 霧多布線
 - 100番 イオン線
 - 特急ねむろ号…釧路(市立病院)⇄根室
- 阿寒バス
 - 鶴居線・幌呂線
 - 市立病院⇄釧路駅⇄湿原展望台⇄鶴見台⇄鶴居村⇄新幌呂
 - 阿寒本町線・リフレ線・鶴野線
 - 市立病院⇄釧路駅⇄動物園⇄山花温泉リフレ⇄阿寒町
 - 釧路羅臼線・釧路標津線・ウトロ線
 - 市立病院⇄釧路駅⇄中標津町⇄標津町⇄羅臼町⇄ウトロ



市立釧路総合病院

〒085-0822
釧路市春湖台1番12号
tel.0154-41-6121
fax.0154-41-4080
URL <https://www.kushiro-cghp.jp>

